

ホーチミン市内でシェアサイクルが運用開始

2021年12月10日からベトナム・ホーチミン市の中心部で、国内で初めてのシェアサイクルサービスが試験導入されています。

◆シェアサイクルの概要

このシェアサイクルは、ホーチミン市交通運輸局が民間企業と連携して運営しており、試験導入期間は1年間の予定です。利用者は「TNGO」というアプリをインストールすると、現在地から一番近いサイクルポートが検索できます。利用料は30分毎に5,000ベトナムドン（約25円）となっており、43カ所のサイクルポートに設置された約400台の自転車が利用できます。一般市民のみならず、新型コロナ流行鎮静化後の観光客の利用も、大きく期待されています。



サイクルポートは主要スポットに設置



シェアサイクルを利用する市民

◆シェアサイクル導入の背景と今後の課題

【背景】

ホーチミン市内の中心部では、慢性的な渋滞や大気汚染が、大きな問題になっています。これを解決すべく、地下鉄建設等の公共交通網の整備に加えて、自転車移動の推奨が呼びかけられています。

【課題】

- ①老若男女問わずバイク文化が根付いているベトナムで、自転車文化が定着するには、時間を要すると考えられます。
- ②過去に中国では、シェアサイクル導入後、爆発的にブームとなりましたが、路上放置や管理不全、過当競争による運営企業の経営破綻等が問題となりました。最近では、コロナ対策で再び利用者が増えているようです。



ラッシュ時の渋滞風景

ベトナムにシェアサイクルは定着するか！？期待して見守っていきます。

(ベトナム・ホーチミン駐在 梶原 康太)

【お問合せ先】

七十七銀行 市場国際部 アジアビジネス支援室
TEL.022-211-9880

【Global Letter NEXT ホームページ】

その他の記事はこちらからご覧ください。

https://www.77bank.co.jp/kokusai/globalletter_next/



本紙記載の内容につきましては、当行が信頼できると考える情報に基づき作成しておりますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談いただくようお願い申し上げます。